

一般質問 (3)



「じゃまないで！」山本優子さん(柳沢在住)の作品

市長の政治姿勢、「青い鳥」補助金問題などを問う

相馬 和弘(市ク)

【質問】西東京市が誕生して3年8カ月となる。「西東京市民白書」によれば「合併してよかった」と答える市民は4人に1人にどまっています。今後の課題は。

【市長】市内で調整しており、私の出番まで話が進んでいなかった。【質問】西原樹林会の設立に当たり補助金を不正受給した事件は起訴・裁判も結審して実刑が確定した。市はこの3年間補助金の支給を保留しているが、施設利用者、職員に責任はない。施設の先行きに不安の声が出されている。人道的立場、利用者保護の見地から補助金を支出すべきではないか。目黒区が支出できて、なぜ地元

が出せないのか。【答弁】目黒区の損害賠償請求訴訟の動向を注視しているが、あくまで市の判断で支給をストップしている。【質問】市長は任期中やり残したことはあるか。【市長】保谷駅南口再開発事業である。

公立小中学校に緑のカーテン(壁面緑化)を

中田 恵美子(公明)

【質問】近年の地球温暖化等による暑さで、夏場の教室は学習環境として不適切である。板橋第七小学校で行っている緑のカーテン(壁面緑化)をモデル校としてスタートさせないか。【答弁】来年度あたり、モデル校としてできるように研究していく。【質問】インフルエンザ予防接種の公費負担を乳幼児にすべきではないか。【答弁】国の動向を注視し、慎重に検討する。【質問】国の事業で、伝統的な文化を子どもたちが体験できる、伝統文化子ども教室がある。当市でも茶道・華道・舞踊連盟が今年度行

西武池袋線、新宿線の開かずの踏切対策の早期実現を

浅野 高司(自民)

【質問】都は本年6月に踏切対策基本方針で、市内の池袋線2区間、新宿線2区間を「鉄道立体化の検討対策区間」に指定し、市と西武鉄道とともに積極的に進めるとしているが、市の対応は。

【市長】都と協議をし、立体化を含め踏切対策を大きな検討課題としていきたい。保谷駅周辺のまちづくり【質問】北口のまちづくりや南口の再開発の進展により、保谷駅周辺は大きく変わる。地下通路を整備することにより、北口の市民が図書館や公民館、店舗を利しやすくなると思うか。【市長】悲願であるが困難。【質問】都道233号線、保谷駅前通りの壁面後退についての市の考えは。

【市長】昭和50年代より14軒の方々に空間確保に協力をいただいている。適用困難なケースを除き、固定資産税の減免を実施する。【質問】コンビニ等夜間営業店における青少年の健全育成と、防犯対策の一環として協議会の設置の考えは。【市長】本部直営店の中に地元商店会とのかかわりを避ける店がある。行政として協力依頼を進めていく。【質問】障害児教育の今後のあり方と方針は。【教育長】他市に比較するとまだ低い。教育委員会として今後鋭意努力をする。



保谷駅南口

環境、三位一体の改革、地域防災、踏切対策

猪野 滋(市ク)

【質問】都市景観の保全の計画や指針を定められないか。6月公布の景観法の評価は。【答弁】都市計画マスタープランに魅力ある景観形成を掲げた。法施行により、自然環境の保持やまちの状態の維持・伸長、創設に関する対策がとりやすくなる。【質問】三位一体の改革の影響と次年度の対策はどうか。【答弁】事業執行上の影響はないが、税源移譲の先送りや交付税縮減の先行など十分な改革。地方六団体から地方の意見反映の担保や

国と地方の協議会設置等を要望しており、11月頃に示されるといふ全体像を注視し、影響等を検討する。【質問】市民の防災意識の高揚と自主的な防災活動の育成について、個別・具体的な目標はあるか。テレビ番組の「ご近所の底力」を活用できないか。【答弁】「まちは自分たちで守る」という連帯意識の醸

成に努める。防災市民組織の結成状況は58団体、1万2千998世帯。加入率16%を25%としたい。情報交換会により意見要望を聞く。【質問】「ご近所の底力」は生かす。【市長】都が策定した踏切対策基本方針で4カ所が鉄道立体化の検討対象区間に選定された。市の取り組みは。【答弁】市町村主体の事業は、財源を含め、相当難しい。

「権不十年」！自分の言葉に責任を持つ

森 輝雄(無所属)

【質問】合併前後に、市長から何度も「権不十年」という言葉を聞いた。権力は10年もすれば知らず知らずのうちに腐敗するという意味だ。多選は好ましくないとの見識だと感心したが、この考えは今も不変か。【市長】旧保谷市での1期目の選挙時に言った。考えは変わらない。多選とは4期目とか5期目だが合併市の1年生市長だ。一般論は当てはまらない。【意見】合併直前の保谷市議

成に努める。防災市民組織の結成状況は58団体、1万2千998世帯。加入率16%を25%としたい。情報交換会により意見要望を聞く。【質問】「ご近所の底力」は生かす。【市長】都が策定した踏切対策基本方針で4カ所が鉄道立体化の検討対象区間に選定された。市の取り組みは。【答弁】市町村主体の事業は、財源を含め、相当難しい。

【質問】中学生ボランティア活動の支援と市民活動センターの充実を。【市長】ボランティア活動の支援と市民活動センターの充実を図る。【答弁】勤労観・奉仕の精神の育成は非常に大切である。【質問】中学校外注併当方式の今後の取り組みは。【答弁】年度内の早い時期に値段、ご飯の量の選択、おかずだけの注文、空弁当回収方法などについて、業者とも協議しながら改善し、喫食率を少しでも上げたい。【質問】介護者の心身に對する負担の軽減や健康維持、介護技術の向上など、介護者に対する支援を今後一層充実せよ。【答弁】現在、市民介護講習会を実施している。心のケ

ボランティア活動の支援と市民活動センターの充実を

小幡 勝己(公明)

【質問】中学生ボランティア活動の支援と市民活動センターの充実を。【市長】ボランティア活動の支援と市民活動センターの充実を図る。【答弁】勤労観・奉仕の精神の育成は非常に大切である。【質問】中学校外注併当方式の今後の取り組みは。【答弁】年度内の早い時期に値段、ご飯の量の選択、おかずだけの注文、空弁当回収方法などについて、業者とも協議しながら改善し、喫食率を少しでも上げたい。【質問】介護者の心身に對する負担の軽減や健康維持、介護技術の向上など、介護者に対する支援を今後一層充実せよ。【答弁】現在、市民介護講習会を実施している。心のケ

【質問】中学生ボランティア活動の支援と市民活動センターの充実を。【市長】ボランティア活動の支援と市民活動センターの充実を図る。【答弁】勤労観・奉仕の精神の育成は非常に大切である。【質問】中学校外注併当方式の今後の取り組みは。【答弁】年度内の早い時期に値段、ご飯の量の選択、おかずだけの注文、空弁当回収方法などについて、業者とも協議しながら改善し、喫食率を少しでも上げたい。【質問】介護者の心身に對する負担の軽減や健康維持、介護技術の向上など、介護者に対する支援を今後一層充実せよ。【答弁】現在、市民介護講習会を実施している。心のケ